

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光物産係
■評価事業名称	岩手県観光協会負担金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060200 - 338	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	岩手の魅力ある観光資源の様々な宣伝を通しての、岩手の誘客促進と県民生活、文化及び経済の向上発展。県内における観光事業の振興を図り、併せて国際観光の振興を促し、文化及び経済の向上発展を図ることを目的に、県及び県内市町村並びに同観光協会で構成する協会負担金			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	岩手県観光協会負担金	県観光協会	岩手県観光協会が行う事業に対する負担金(事業計画)・情報発信・国内誘客対策・受入体制整備・国際観光推進・県及び関係機関と連携、取組支援	岩手県観光協会が行う事業に対する負担金(主要事業)・情報発信・国内誘客対策・受入体制整備・国際観光推進・県及び関係機関と連携、取組支援・インバウンド対策事業・国体関係事業

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	936	935	935	1,059	
人件費	76	81		75	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,012	1,016	935	1,134	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	観光振興のための賛助会員協議会開催		2回	1回	3回	観光振興を目的とする賛助会員全員協議会に出席した。
02	観光宣伝事業、受け入れ体制の整備事業、誘客対策事業		適宜	適宜	適宜	観光客誘客や、修学旅行受け入れなどの各種事業、キャンペーンを実施した。
03	年間観光客の入込数		1,394千人	1,400千人	1,468千人	各施設等への入込調査による

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

04	開催数当たりコスト				
05	観光客当たりコスト		0.73円	0.67円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

大きなイベントを中心に年間入込数は増加傾向となっている。

問題点・課題等

関係団体、事業者を含め観光を取り巻く環境の変化に対応できていない。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

他市との連携と競争を見極め、実行性があり効果のある施策を実施する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了